

会 議 記 録				
会議の名称		総務文教常任委員会		会議場所 全員協議会室
		担当職員 数井		
日 時	令和6年9月17日（月曜日）		開 議	午前10時00分
			閉 議	午後 3時08分
出席委員	◎小林 ○竹内 浅田 原野 松山 三上 山本 福井 菱田議長			
執行機関 出席者	垣見市長公室長、川内人事課長、八木人事課人事係長、小梯人事課給与係長 山本政策企画部長、山口企画調整課長、木村財政課長、 橋本企画調整課SDGs・企画推進係長、小森財政課予算係長、山口財政課財務係長 三宅生涯学習部長、樋口市民力推進課長、小塩文化国際課長、小林生涯スポーツ課長 香川市民力推進課副課長兼市民活動推進係長事務取扱、 岡田文化国際課副課長兼文化国際係長事務取扱、飛鳥井文化国際課文化財係長 廣瀬生涯スポーツ課生涯スポーツ係長 大倉総務部長、牧野総務課長、藤本自治防災課長 森岡教育部長、川口教育部次長、松野教育総務課長、今西学校教育課長、 山内みらい教育リサーチセンター副所長、岩崎学校給食センター所長			
事務局	吉田事務局長、数井事務局次長			
傍聴	可	一般 0名	報道関係者 1名	議員名（富谷、齊藤、林、大西、大石、梅本、木村、小川、片山）

会 議 の 概 要

10:00

1 開議

【事務局日程説明】

10:01

2 議案審査

（市長公室 入室）

10:01～

【市長公室】

（1）第1号議案 令和6年度亀岡市一般会計補正予算（第2号）

市長公室長 あいさつ
人事課長 説明

10:08

《質疑》

＜福井委員＞

このシステム改修ですべての職員の勤怠管理ができるのか。

＜人事課長＞

今回、放課後児童会の指導員248名について、システムで勤怠管理ができるように改修をするものであるが、学校における各種指導員や給食配膳員などは勤務時間には

らつきがあり、当面紙による管理を続ける。

<松山委員>

紙による管理を続ける会計年度任用職員について、システム化した場合の試算はしたのか。

<人事課長>

ＩＣカードリーダー自体は１台約１０万円の見込みであるが、すべての学校現場において、配線作業を合わせるとかなりの金額が必要と考えている。

<松山委員>

京都府の補助はないのか。

<人事課長>

学校関係の職員について、補助がないかは調べていきたい。

<原野委員>

説明のなかで、使用料として６万６，０００円必要とあったが何の使用料か。

<人事課長>

源泉徴収票の発行業務である。

<竹内副委員長>

メンテナンスのランニングコストは。

<人事課長>

毎月の使用料の中で保守管理を行っていただく。

<小林委員長>

誤って他人の源泉徴収票が発行されることはないか。

<人事課長>

源泉徴収票の閲覧や印刷は、給与明細書を確認等するためのシステムのオプション機能となっているが、そのシステムを使用するには、個人が設定したＩＤとパスワードを入力しなくてはならないため、セキュリティは保たれている。

(質疑終了)

１０：１６

(市長公室 退室)

(政策企画部 入室)

１０：１７～

【政策企画部】

(１) 第１号議案 令和６年度亀岡市一般会計補正予算（第２号）

政策企画部長 あいさつ

財政課長 説明

１０：２１

《質疑》

なし

(質疑終了)

１０：２１

(２) 第４９号議案 辺地総合整備計画の策定について

企画調整課長 説明

１０：２６

《質疑》

＜原野委員＞

対象数は。

＜企画調整課長＞

バス利用者18名のうち、当該辺地の対象者は9名である。

＜松山委員＞

土ヶ畑地区と千ヶ畑地区の辺地度点数の違いは。

＜企画調整課長＞

公共施設や病院などからの距離が算定基準で、土ヶ畑地区は千ヶ畑地区と比較して学校や医療機関、教育施設ともに遠距離にある。

＜小林委員長＞

資料には両地区とも育親学園まで9キロメートルと記載されているが、これについてどうか。

＜企画調整課長＞

育親学園への距離の起点は両地区とも畑野小学校からであり、それが9キロメートルとなっている。

＜福井委員＞

亀岡川東学園へ走行するスクールバスには一般の人が乗車できるが、育親学園へ行くこのスクールバスに一般の人は乗れるのか。

＜企画調整課長＞

スクールバスにおける乗降ルールについては教育部が所管しており、本課では分らない。

(質疑終了)

10:31

(政策企画部 退室)

(生涯学習部 入室)

10:32～

【生涯学習部】

(1) 第1号議案 令和6年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)

生涯学習部長

あいさつ

各課長

説明

10:44

《質疑》

＜浅田委員＞

ガレリアかめおかの空調の新設工事でフロンに代えて何を使うのか。

＜市民力推進課長＞

代替えフロン冷媒である。

＜松山委員＞

文化財保護経費を増額してベトナムに行くのはいつか。

＜文化芸術課長＞

12月8日から13日の6日間の予定である。

＜松山委員＞

課長が行くのか。

<文化芸術課長>

その予定である。

<松山委員>

角倉了以翁の功績は大きなものであり、今回の視察で歴史をたどり、その功績を顕彰するのであれば徹底的に実施するべきであり、その功績を次世代につないでいかなくてはいけないと考えるが所見は。

<文化芸術課長>

2年後に保津開削420周年の年にあたり、角倉了以翁を知ってもらえる展示などができるように調査研究をするものである。

<松山委員>

角倉了以翁があまり知られていないと感じており、420年イベントの単発で終わらせることなく、いろいろなことを融合して進めてほしい。

<文化芸術課長>

そのような思いで取り組んでいく。

<竹内副委員長>

ガレリアかめおかの修繕について、既に製造されていない部品が多いとのことであるが、工事の状況はどうか。また、物価高騰の影響は。

<市民力推進課長>

建設当時から使用していた部品が多く、ほとんどが修繕できず、更新が必要な状況である。長期的な修繕計画を策定した後、部分的な修繕についてはその都度設計を行う方針であったが、近年の物価高騰もあり、長期計画から金額は増える可能性もある。

<竹内副委員長>

当初に建築した際、特殊な部品を使っていたのか。

<市民力推進課長>

今回の空調の修繕について、受注生産した部品も多くあり、25年以上経過する中で製造されていないものもある。

<三上委員>

公共施設に関する管理計画では、30年間維持させるために120億円必要とあるが。

<市民力推進課長>

そのすべてを実施するものではなく、精査して修繕していく予定である。

<福井委員>

京都スタジアムへサッカー観戦に行かない自治会はどこか。

<生涯スポーツ課長>

現状申込みをされていないのは亀岡地区西部、西別院町、曽我部町の3自治会である。

<福井委員>

12月までホームゲームがあるが、まだ申込みできるのか。

<生涯スポーツ課長>

可能である。

<福井委員>

ベトナムへ行く目的を再度説明願う。

<文化芸術課長>

角倉了以翁の足跡をたどることで保津川開削の功績となる前の事業の勉強のためである。今回の企画は、亀岡市の生涯学習に貢献いただいている京都文化創生機構が主催しており、その副理事長がベトナムで一時居住されていたことから、角倉了以翁が

現地で行った場所についてより詳細に学習できると考えている。

<福井委員>

急に海外出張の話が出て、ただ行くだけで終わるのではないかと不安に思っている。
今後のイベントに役立てるとのことであるが、しっかりと市民に共有でき、亀岡を発信することができると思っているのか。

<文化芸術課長>

京都文化創生機構は2022年からいろいろなフォーラムをされており、それらを集約する形でベトナムの企画をされたものあり、今後に生かせるように視察に行きたく考えている。

<竹内副委員長>

角倉了以翁を基軸とした亀岡のまちづくりに役立てるものがベトナムにあるのか。

<文化芸術課長>

団長の京都文化創生機構の副理事長をパイプ役に、目的地のまちと連携できるような関係を築くことができればよいと思っている。

<原野委員>

ガレリアかめおかの空調機の更新と屋上防水工事の内訳は。

<市民力推進課長>

空調機の更新が992万2千円で、そのうちコンベンションホールの空調機が519万2千円、響ホールの空調機が473万円である。屋上防水工事が990万円である。

<原野委員>

ベトナムから帰国してどのような取組を実施し、市民へフィードバックする予定か。

<文化芸術課長>

保津川開削420周年のプレ事業を文化創生機構が計画しており、市も連携し協力していきたいと考えている。

<原野委員>

勉強してきたことをどのように伝えるのか。

<文化芸術課長>

学習してきた知識をもとに、写真の展示などを実施して市民に伝えていきたい。
(質疑終了)

11:08

(生涯学習部 退室)

(総務部 入室)

11:09～

【総務部】

(1) 第1号議案 令和6年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)

総務部長	あいさつ
自治防災課長	説明

11:13

《質疑》

<福井委員>

防災無線機の場所はどこか。

<藤本課長>

亀岡市大井町土田の人見畜産の近くである。

<浅田委員>

更新するのか。

<藤本課長>

圃場整備の移設補償を受けて移設するものであり、更新はできない。

(質疑終了)

11:15

(総務部 退室)

(休憩)

11:15～11:28

(教育部 入室)

11:28～

【教育部】

(1) 第1号議案 令和6年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)

教育部長 あいさつ

教育総務課長 説明

11:36

《質疑》

<松山委員>

情報教育推進経費について、今後の入札の在り方はいかがか。

<みらい教育リサーチセンター副所長>

これまでは作業期間が短く、当初にタブレットを導入した株式会社ライオン事務器と随意契約してきたが、今回は期間を取って競争入札としていきたい。

<松山委員>

学校給食センターのラウンドベア修繕について詳細な説明を願う。また、ボイラーの老朽化の状況はどうか。

<学校給食センター所長>

ラウンドベアは施設と一体化しており、皿や箸を洗浄して乾燥し保管するものであるが、モーターに異音があり、修繕するものである。ボイラーは毎日のように安全に気をつけて点検しているが、危険な場合は事業者により点検させている。

<三上委員>

先日学校給食センターを訪れたとき、ボイラーから水漏れがあり緊急対応されていたがその後どうか。

<学校給食センター所長>

蒸気漏れの箇所を確認し、その日のうちに事業者により修繕できたところである。

<三上委員>

債務負担行為の万博への見学について、今後の予定は。

<学校教育課長>

9月末頃に、チケット支援について京都府から学校担当者向けの説明会がある。

<三上委員>

各学校の意向は。

<学校教育課長>

全校参加の予定である。

<三上委員>

参加について、すべての学校が担任などと協議して決定したのか。

<学校教育課長>

意思形成の方法は知らないが、すべての学校から参加と聞いている。

<三上委員>

意向確認のスケジュールはどうであったのか。

<学校教育課長>

4月に万博見学について説明等を行い、6月頃に最終確認を8月までにしてほしいと伝えた。

<山本委員>

学校として不安な部分が多いと思うが、どのように返答しているのか。

<学校教育課長>

バスの駐車場所、パビリオン選択の可否、昼食場所などいろいろな不安は解消できていないが、旅行会社と早期に契約をして進めていきたい。

<山本委員>

どの時点ではっきりと分かるのか。

<学校教育課長>

どの時点かも分からないが、安全な校外学習となることを大前提に取り組んでいく。

<三上委員>

現地で食事をとる予定か。

<学校教育課長>

弁当を持ち込むかどうか未確定であり、現地の食事をとるとなったときのために昼食代を予算に見込んでいる。

<松山委員>

情報共有についてどのようなスケジュールか。

<学校教育課長>

10月以降にパビリオンの予約の仕方など情報がでてくると聞いている。

<小林委員長>

ほかに質疑あるか。

<学校教育課長>

さきほどの政策企画部の辺地総合計画の策定について、亀岡川東学園のバスは一般市民が利用できるが、育親学園もそのようにできるかとの質問があったが、それについて回答する。亀岡川東学園のバスは、京阪京都交通による路線バスに子どもたちが混乗しているものであり、育親学園のスクールバスについては、登下校用に購入するものであるため、法的な面で研究が必要であり現状は一般の方は乗車できないと認識している。

<三上委員>

バスが購入できれば子どもたちの送迎に余裕ができるのか。

<学校教育課長>

古くなったスクールバスを更新するものであり、子どもたちの送迎計画に変更はない。
(質疑終了)

11:59

(教育部 退室)

(休憩)

11:59～13:00

13:00～

3 討論～採決

《委員間討議》

<小林委員長>

委員間討議の希望はあるか。

<三上委員>

給食センター管理経費において、ボイラーからの蒸気漏れの問題が一つ、文化財保護経費において、ベトナムへの出張に明確なビジョンがないことが一つ、万博体験実業務委託経費における債務負担行為について、情報が少な過ぎることが一つ、この3点で委員間討議を希望する。

<小林委員長>

それでは、最初に給食センター管理経費から委員間討議を行う。意見あるか。

<三上委員>

先日、学校給食センターへ行ったときにボイラーから湯が漏れており、応急的に修繕をしたようであるが、委員会から何らかの指摘をしたほうがよいのではないかと考えている。

<福井委員>

令和10年から中学校給食を始めると言っておきながら、こういった方式にするのかなどの方針がまだ決まっておらず、大規模な改修ができない状態であり、一時しのぎ的な対応で維持していく考えであると思っている。

<三上委員>

現在、中学校給食に係る計画を業務委託で実施しており、結果は年度末になるかと思うが、学校給食センターが健在な状態であることで計画を立ててはいけないうちで、また、現場の状況をもっと把握していただきたいところである。

<松山委員>

今回の補正による修繕だけではなく、安定的に給食を提供できる環境について、適正に維持管理に努めていただきたい。

<浅田委員>

学校給食センターの現場では、かなり危機感を持っているようであったが、教育委員会内でどこまで共有されているのか心配である。

<福井委員>

学校給食センターの建替ありきで、修繕としては必要最小限の経費しか投入されていないと思う。

<山本委員>

確かに、ボイラー配管の修繕については抜本的な対応がされていないと感じている。

<竹内副委員長>

予算特別委員会の市長質疑において、ボイラーの修繕が待ったなしと言ったところ、教育長はそこまでひどい状況とは把握していないとの答弁であった。現場の声は届いていないと感じる。

<小林委員長>

文化財保護経費について委員間討議を行う。意見あるか。

<松山委員>

歴史的な経過を勉強することは大切であるが、もっと明確なビジョンと緊張感を持って取り組んでいただきたい。

<三上委員>

京都文化創生機構に誘われたから行ってくるといった感じが否めない。

<原野委員>

保津川開削420年に向けてどのように進めるか不明瞭である。

<竹内副委員長>

帰国後のビジョンに具体的な考えが見えない。

<福井委員>

まだ不明なところがあるため、可能であれば文化芸術課に再度質疑がしたい。

<松山委員>

ベトナム帰国後の啓発などについて、より詳細な構想は必要であり、再度説明を聞きたいところである。

<小林委員長>

再質疑について事務局から調整願う。

<事務局次長>

確認する。

<小林委員長>

その間に、万博体験実施業務委託経費における債務負担行為について委員間討議を行う。意見あるか。

<三上委員>

見学に係る課題が多くあり、また、学校の自主性が失われているのではないかと考えている。

<福井委員>

今のところ、各学校長からは実施するとの意見であると学校教育課長から説明があったが、情報が早くほしいところである。

<三上委員>

京都府で予算化されたチケットを全員に配り、個人で行く方法もあると思っており、学校全体で行かなくてはいけないものかどうか疑問に思う。

<松山委員>

全容が見えていない中ではあるが、より早く情報を入手する体制を求めながら、学校と共有を図り進めていただきたい。

<福井委員>

情報が得られる都度対応できるように債務負担行為として予算が確定しておくことがいいのかもしれない。

(討議終了)

13:42

<小林委員長>

文化財保護経費の補正について、再度生涯学習部に入室いただく。

(生涯学習部 入室)

<小林委員長>

再度の質疑になるがよろしく願う。質疑はあるか。

<原野委員>

保津川開削420年について、京都文化創生機構と市の取組はそれぞれどのように進められるのか。

<文化芸術課長>

角倉了以翁について知らない人が多く、偉人として広めていきたく思っており、市としては、文化資料館の展示などに取り組んでいく考えである。京都文化創生機構は、団体設立の趣旨が文化の継承と創生を掲げておられ、その方面で活動されることになる。２０２２年以降、角倉了以翁に関連した講演会を開催されている。

<原野委員>

市としては角倉了以翁の知名度を上げたいのか。

<文化芸術課長>

個人の知名度というより、保津川開削の歴史とその舟運による亀岡市の発展を伝え、亀岡市に愛着を持ってもらえるような取組としていきたい。

<原野委員>

京都文化創生機構と市の事業のすみ分けは。

<文化芸術課長>

具体的な話はできていないが、民間が主体で進められることは市としてバックアップをしていきたい。

<原野委員>

角倉了以翁の足跡をたどり、現地で学習をして保津川開削４２０周年へつなげていくという流れは分かるが、急な計画により補正予算での対応となった点について所見は。

<文化芸術課長>

京都文化創生機構は、保津川開削４２０年に向け、２０２２年と２０２３年に講演会を実施されるなどの取組を着実に実施されており、そういった構想の中で、以前からベトナムでのイベントの計画があり、今年度の夏頃に具体的な日程等が決まったため、補正予算での対応となった。

<原野委員>

帰国後の具体的な構想は。

<文化芸術課長>

保津川開削４２０年周年を見据え、同行する学芸員と内容を深め、その功績を発信できるように考えている。

<福井委員>

議案に至るまでの経過は。

<文化芸術課長>

今年の３月議会で、西口議員から角倉了以翁とベトナムの関係性、顕彰事業を進めるように質問され、市長から市としても調査研究を行っていききたいと答弁しており、それを具体化した事業の補正である。

<松山委員>

ベトナム出張の大義は。

<生涯学習部長>

偉人の顕彰は後世に歴史をつないでいく事業として、様々な情報収集を行い、民間団体と関係を保ちながら進めていきたい。

<三上委員>

一年前からベトナム行きの話があったのか。

<文化芸術課長>

そうである。

<三上委員>

保津川開削４２０周年はどの程度の事業をする予定か。

<文化芸術課長>

具体的には決まっていないが、文化資料館として顕彰をしていきたい。

<三上委員>

保津川開削400周年のときはどのような事業であったのか。

<文化芸術課長>

実行委員会を立ち上げ、南郷公園を清掃しての演劇や角倉了以翁の木造彫刻をつくるなど大規模に実施されていた。

(質疑終了)

14:09

(生涯学習部 退出)

《討論》

<三上委員>

第1号議案に反対の立場で討論する。万博への引率に係る予算設定が不明瞭であるため反対する。

<福井委員>

第1号議案に賛成の立場で討論する。万博体験実施業務委託経費の債務負担行為について、予算として確定したほうが、今後情報が取得できたときに早く対応できるため、賛成する。

<松山委員>

第1号議案に賛成の立場で討論する。学校給食センターの修繕は至急対応が必要であること、万博体験実施業務委託経費については、これから情報収集を行う上での体制整備としてその債務負担行為は妥当であるため、賛成する。

14:15

《採決》

<小林委員長>

賛成者は挙手願う。

第1号議案	令和6年度亀岡市一般会計補正予算（第2号）	挙手多数	可決
第49号議案	辺地総合整備計画の策定について	挙手全員	可決

14:16

《指摘要望》

<松山委員>

学校給食センターにおいて、安定的に給食が提供できることを第一に考え、修繕を行っていただくよう要望してほしい。

<福井委員>

万博体験実施業務委託経費の債務負担行為について、2025年日本国際博覧会協会等の情報を早急に取得し、速やかに実現できる体制を整えてられるよう指摘要望していただきたい。

<原野委員>

文化財保護経費について、ベトナム帰国後、保津川開削420周年に向け、京都文化創生機構と本市の両者がそれぞれ事業を実施するが、亀岡市として明確な意義と目的を持って進めてほしいと指摘要望していただきたい。

<小林委員長>

それでは、給食センター管理経費では、安定的に給食を提供できる環境を整えるために、老朽化した学校給食センターの現状を把握し優先順位を明確にして対応されたい、万博体験実施業務委託経費の債務負担行為について、2025年日本国際博覧会協会等からの情報を取得する都度速やかに、万博体験事業の実現が可能となるよう確実に準備されたい、文化財保護経費について、角倉了以翁の偉業をたたえる顕彰事業等について、ベトナム視察を含め、すべての事業に対し、明確な意義と目的を持って取り組まれたいと指摘要望するがそれでよいか。

—全員了—

14：27

4 要望

(1) 母(王乖彦(オウカイゲン))が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情[郵送]

<小林委員長>

郵送で提出されているがどのように取扱うか。

<原野委員>

聞き置く程度で。

<小林委員長>

そのようにしてよいか。

—全員了—

(2) 女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める要望[持参]

<小林委員長>

持参で提出されているがどのように取扱うか。

<福井委員>

委員会としては聞き置く程度でよいと思う。

<小林委員長>

そのようにしてよいか。

—全員了—

14：29

5 議会だよりの掲載事項について

<浅田委員>

第49号議案 辺地総合計画の策定を提案する。

<三上委員>

指摘要望をつける予定の万博体験実施業務委託経費の債務負担行為がよいと思う。

<小林委員長>

議会だよりにおける本委員会の掲載事項は、第1号議案 令和6年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)の万博体験実施業務委託経費の債務負担行為と第49号議案 辺地総合計画の策定としてよいか。

—全員了—

14：31

(休憩)

14：31～14：44

14:44～

6 行政報告

(総務部 入室)

【総務部】

(1) かめおか防災・安全安心フェスタ2024について

総務部長 あいさつ
自治防災課長 説明

14:49

《質疑》

<松山委員>

熱中症などの対応はどうか。

<自治防災課長>

水分補給できる箇所を設け、しっかりと対応していきたい。

<松山委員>

ほかの市町への案内は。

<自治防災課長>

京都市、大阪府能勢町、高槻市など、エリアメールが鳴ることも含め周知する。

<浅田委員>

消防団の出動は。

<自治防災課長>

放水訓練を行う。

<福井委員>

一昨年はJ R 亀岡駅北で実施したが、運動公園のほうがよいのか。

<自治防災課長>

J R 亀岡駅北は会場費用が高い。

<福井委員>

一昨年も参加登録制であったか。

<自治防災課長>

一昨年はシェイクアウト訓練をしていないため、登録制ではなかった。

<山本委員>

雨天時は。

<自治防災課長>

少雨決行で、大雨になると中止である。

<松山委員>

J R 西日本の参加はどうか。

<自治防災課長>

一昨年のJ R 亀岡駅北での開催時は参加いただいたが、場所の関係で今回は参加の予定はない。

<山本委員>

体験ブースなどは常にオープンしているのか。

<自治防災課長>

基本的にはそうである。

<竹内副委員長>

前回の出席者数は。

<自治防災課長>

講演会に約500人は来ていただいたと記憶している。

(質疑終了)

15:02

7 その他について

(1) 次回以降の日程について

次 回 10月2日(水) 委員長報告の確認等

10月月例 10月21日(月) 13:00から

11月月例 11月18日(月) 10:00から

散会 ~15:08